

# 第 3 章

## 計画の基本的な考え方

### 1 計画の基本理念と重点目標

#### (1) 基本理念

本市は、空港開港により総人口が増加し、若い世代の流入人口が増えていますが、一方で高齢者人口も増加しており、特に後期高齢者の人口が年々増加しています。

また、高齢化に伴いひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者も増加していることから、自立した生活を支援していく体制の構築や、介護と医療サービスの一体的な提供の必要性がますます高まっています。

一方で、高齢者をこれまでのように「支えられる人」として考えるだけでなく、培ってきた知識や経験を活かした活動や、介護予防・生きがいづくりの活動を自ら行い、「地域を支える担い手」となることが期待されています。

このような社会構造の変化や人々の暮らしの変化に対応するため、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現を目指していくことが求められます。

こうした現状を踏まえ、団塊の世代が75歳になる2025年、そしてその先団塊ジュニア世代が65歳以上となり労働人口が大幅な減少に向かう2040年を見据え、持続可能な高齢者福祉と介護保険制度を運営することと、高齢者がいつまでも生きがいをもって、住み慣れた地域で生活できるまちづくりを進めるため、本計画でもこれまでの基本理念を継承し、以下のように掲げます。

〔基本理念〕

**住み慣れた地域で 支え合いながら  
いきいきと暮らせる まちづくり**

## (2) 4つの重点目標

### I 健康で生きがいのある暮らしづくり

高齢者がいつまでも健康で、生きがいを持ちながら生活が送れるよう健康づくりや介護予防を推進し、健康寿命の延伸を図ります。また、地域の通いの場の拡充とともに、高齢者がこれまでの経験や知識を活かし、地域で活躍できるボランティアの機会を提供し、仲間づくりや生きがいづくりを支援します。

### II となめで安心して生活できる地域づくり

高齢者が、安心して地域で生活を送るために、高齢者相談支援センターや関係機関との連携を推進します。同時に、医療と介護の連携による一体的なサービスの提供、生活支援コーディネーターによる地域活動支援や安心生活検討会の開催、地域ケア会議等を活用して地域課題への対応に取り組みます。

### III となめで笑顔で暮らせるサービスの仕組みづくり

高齢者の増加を見据え、介護予防、要介護状態の軽減・悪化の防止等にも取り組むことにより、介護保険制度の持続可能性を確保し、介護サービスの円滑な提供を図ります。また、福祉人材の育成・支援や福祉介護の環境整備に向けた取り組みを推進するとともに、適切な介護サービスを利用できるよう、情報提供・相談体制の充実も図ります。

### IV 認知症の人と家族にやさしいまちづくり

今後も認知症高齢者が増加していくと推測される中で、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」を目指し、「共生」の基盤の下、通いの場の拡大など「予防」の取組を推進します。

認知症の容態に応じ、適切な医療や介護等の支援を提供していくとともに、認知症サポーター養成講座等の開催により、地域で認知症の人と家族を支えていくまちづくりを推進します。

### (3) 地域包括ケアシステムの深化と推進

本市では、第3期計画から「地域包括ケアシステム」の考え方を導入し、第7期計画においては、国の示す基本理念に基づき、高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自立した日常生活を営むことができるよう、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援を一体的に提供していく「地域包括ケアシステム」の深化と推進に取り組んできました。

本計画では、引き続き、「地域包括ケアシステム」を深化・推進することとし、増加し続ける高齢者が、地域の実情に応じて人生の最期まで自分らしい暮らしを続けることができるよう支援していきます。

また、自分のことを自分でする「自助」や、制度や公的な扶助によって行われる「共助」「公助」に加え、NPOやボランティアなど地域住民によるインフォーマルな助け合い・見守りである「互助」の視点が、地域包括ケアシステムを構築していくに当たり欠かせないものとなっていきます。

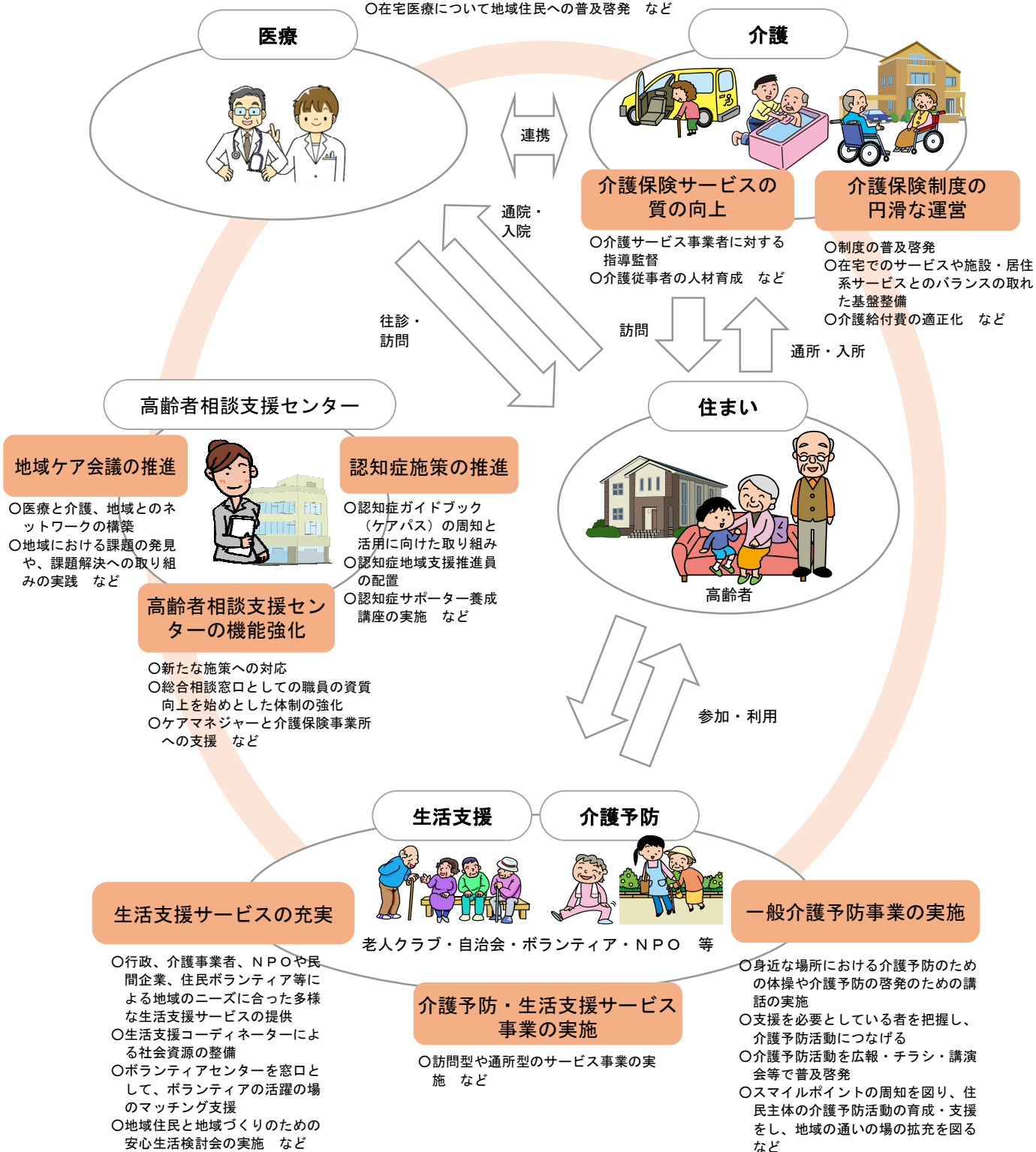
こうした中、本市で活動している民生委員児童委員や高齢者サポーター等既存の組織、団体と地域、行政が協働し、支え合いながら暮らしていくことができる「地域共生社会」の実現に向けて、地域の住民が抱える多様かつ複合的な課題の解消に向けた包括的な支援体制を進めます。

図 地域包括ケアシステムのイメージ

日常生活圏域

在宅医療・介護連携の推進

- トコタンとことこ常滑ネットの活用
- 連携のための課題の抽出や解決策を検討するための会議の開催
- 在宅医療に関わる医療・介護職が相互に理解するための研修会の実施
- 地域における医療・介護等の事業所の把握や、マップの作成
- 在宅医療について地域住民への普及啓発 など



## 2 施策の体系

[ 基本方針 ] [ 基本理念 ]

[ 重点目標 ]

[ 施策の方向性 ]

